

町史だより



『西原町史』発刊に向けて③

西原町立図書館町史編集係では「西原の言語(仮題)」発刊に向けて、西原町内の十五集落を中心に方言調査を行っています。さらに、今年度から「通史編(仮題)」、「戦後新聞記事目録(仮題)」と二つの事業を立ち上げました。今回の町史だよりでは、「戦後新聞記事目録(仮題)」について紹介します。

新聞は社会の動きを政治・経済・生活と社会全般にわたって報道・記録している重要な歴史資料です。

『西原町史』第2巻 資料編1「文献資料」では、西原関係新聞記事集成(明治三十一年〜昭和二十年)を収録・発刊していきます。今回の事業は、それ以降である戦後復興期から本土復帰までの西原関係新聞記事を、ウルマ新報・琉球新報・沖縄タイムスから抜き出し、見出し目録集として発刊する予定です。

激動の戦後を知ること、西原の先人たちがどのように生き抜いてきたかを理解し、より豊かな西原町を目指していく

糧となる資料を目指します。



沖縄の戦後新聞は、一九四五(昭和二十)年七月に米占領軍の情報機関紙として発行された「ウルマ新報」(のちに、ひらがなの「うるま新報」と改題)から始まります。

「ウルマ新報」は、米占領軍の情報機関紙として石川市(現うるま市)で創刊されました。当時は、タブロイド判(新聞の二分の一ページ大の型のガリ版(謄写版とうしゃの通称。原紙に鉄筆で書いたりタイプライターで打ったりして印刷する、軽便な印刷機)刷り二ページで、週刊、無償配布されました。一九五二(昭和二十六年)九月十日、「琉球新報」に改題し、現在にいたります。

「沖縄タイムス」は、一九四八(昭和二十三年)七月に那覇市で創刊しました。当初は、ガリ版刷りのタブロイド判で週二回の発行でしたが、一九四九(昭和二十四)年十一月から日刊となり、一九五二(昭和二十七年)年七月から夕刊を発行しました。

以上のことを踏まえた上で、現在『縮刷版 うるま新報 第4巻』から西原関係新聞記事の抜き出し作業を行っています

ます。

ここで西原に関する記事の見出しの一部を紹介します。(漢字は原文のまま旧漢字を使用)

〔一九五〇(昭和二十五年)年 七月五日(水) 脱穀機近く農家へ 一期米収穫に参加〕

〔一九五〇(昭和二十五年)年 七月十六日(日) 選挙法あす公布!〕

〔一九五〇(昭和二十五年)年 七月十九日(水) 定員にも變同多し 市町村長・同議員改 正選挙法近く公布か〕

〔一九五〇(昭和二十五年)年 七月廿五日(火) 農連地区協議開催〕

〔一九五〇(昭和二十五年)年 七月廿六日(水) 選挙管理 群島地区委員決定〕

このように、選挙が行われたことや、農業関係の記事などが見受けられます。

「戦後新聞記事目録(仮題)」の編集には、一九四五(昭和二十年)〜一九七二(昭和四十七)年の新聞資料が必要です。現在、資料の収集を行っています。まだまだ手薄の状態です。各自治会や個人で新聞資料をお持ちの方は、ぜひとも西原町史編集係までご連絡ください。

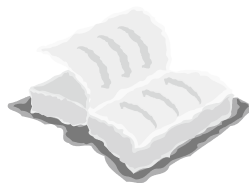
【参考文献】沖縄タイムス社『沖縄大百科事典』／三省堂『新明解国語辞典 第四版』／不二出版『縮刷版 うるま新報 第4巻』

資料収集にご協力ください!

西原町立図書館町史編集係では、町内に関する資料の収集を行っています。

<主な収集資料>

- ・写真(古写真、人物、風景、まつり、町行事) ・地図
- ・辞令書 ・文書 ・石碑 ・沖縄関係新聞資料



上記の資料以外でも、受け付けていますので西原町立図書館町史編集係までご一報ください。